



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 佐藤商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8065 URL <https://www.satoshoji.co.jp>
 代表者 （役職名） 代表取締役社長執行役員 （氏名） 野澤哲夫
 問合せ先責任者 （役職名） 経理部長 （氏名） 桶田昭仁 TEL 03-5218-5312
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	78,128	11.1	2,041	28.6	2,330	24.5	1,576	△8.7
2026年3月期第1四半期	70,329	2.6	1,587	32.9	1,871	20.7	1,726	1.9

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 2,565百万円（103.5%） 2026年3月期第1四半期 1,260百万円（△24.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	76.11	75.09
2026年3月期第1四半期	82.22	80.99

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	182,592	78,599	42.9
2026年3月期	181,208	76,945	42.3

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 78,312百万円 2026年3月期 76,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	38.00	—	44.00	82.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期 （予想）	—	50.00	—	55.00	105.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	160,000	12.4	4,800	48.7	5,100	44.9	3,600	22.8	173.80
通期	325,000	11.2	10,300	34.2	10,500	28.6	8,100	23.3	391.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	21,799,050株	2026年3月期	21,799,050株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,071,066株	2026年3月期	1,090,009株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	20,713,763株	2026年3月期1Q	21,004,471株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、中東情勢における緊張の高まりに起因する様々なコストの上昇や生産資材に係る調達サイクルの鈍化など、サプライチェーン全体への深刻な影響がリスクとして顕在化し、先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況下におきまして、当社グループは、第四次中期経営計画で掲げた経営目標の進捗状況を管理しながら各重点課題に取り組んでおり、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は781億2千8百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は20億4千1百万円（前年同期比28.6%増）、経常利益は23億3千万円（前年同期比24.5%増）となりましたが、前年同期においては政策保有株式の売却益4億8千9百万円を特別利益に計上していたこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億7千6百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、第四次中期経営計画において掲げる事業ポートフォリオの見直し及びグループ最適化の推進に伴い、成長性の高い海外拠点での事業を明確化することを目的として、「海外グループ事業」を新設いたしました。従来は海外拠点の経営成績について取り扱う商品ごとに「鉄鋼事業」、「非鉄金属事業」、「電子事業」、「ライフ営業事業」、「機械・工具事業」、「営業開発事業」に区分しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「海外グループ事業」として表示しております。また、国内各拠点についても海外拠点同様、従来の区分から各事業拠点が所属する事業セグメントごとの区分に変更しております。これらの変更により、報告セグメントは従来の6区分から7区分に変更しております。

なお、前年同期比較につきましては、変更後の報告セグメント区分に基づいております。

① 鉄鋼事業

鉄鋼事業においては、主要取引業界である商用車業界向けの販売は堅調に推移しましたが、建設業界向けの取引において前年度に大型物件があった影響等により、売上高は450億1千9百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は7億9千万円（前年同期比1.6%減）となりました。

② 非鉄金属事業

非鉄金属事業においては、主要取引業界である商用車業界向けの販売が堅調に推移したこと等に加え、地金相場の上昇による価格影響等により、売上高は90億7千6百万円（前年同期比43.9%増）、営業利益は7千5百万円（前年同期比53.6%増）となりました。

③ 電子事業

電子事業においては、主力のプリント配線基板用積層板の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は48億8千6百万円（前年同期比32.7%増）となりましたが、液晶、半導体向け部材の輸出及び部品の販売が低調に推移したこと等により、営業利益は2億3千万円（前年同期比14.2%減）となりました。

④ ライフ営業事業

ライフ営業事業においては、自社商品の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は26億7百万円（前年同期比14.0%増）となりましたが、輸入品等の仕入コストが増加したこと等により、営業利益は1億6百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

⑤ 機械・工具事業

機械・工具事業においては、国内の拠点網を活用しながら、取引先への販売活動を積極的に推進したこと等により、売上高は8億2千5百万円（前年同期比4.2%増）、営業損失は2千7百万円（前年同期は営業損失5千4百万円）となりました。

⑥ 営業開発事業

営業開発事業においては、主力の商材及び工事案件を適宜受注しましたが、需要が低迷したこと等により、売上高は9億7千7百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は3千1百万円（前年同期比49.4%減）となりました。

⑦ 海外グループ事業

海外グループ事業においては、電子関連でAIサーバー向けの高機能材の販売が好調に推移したほか、半導体、液晶およびHDD向け部材の販売も大幅に増加いたしました。また、鉄鋼・非鉄金属関連においても商用車業界向けの販売が堅調に推移したこと等により、売上高は147億3千5百万円（前年同期比45.0%増）、営業利益は8億3千3百万円（前年同期比148.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて13億8千3百万円増加し、1,825億9千2百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券が増加したこと等により投資その他の資産が9億8千7百万円増加したことあります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて2億6千9百万円減少し、1,039億9千3百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて16億5千3百万円増加し、785億9千9百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が6億6千4百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が8億1千5百万円増加したことあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想につきましては、AIサーバー向けの高機能材や半導体部材の需要拡大をはじめとした海外グループ事業の売上高および利益が想定以上の水準で推移したことに加え、主力取引業界である商用車業界向けの販売が堅調であったことや非鉄金属相場の高騰等により、前回予想を上回る見通しとなったため、業績予想を上方修正いたしました。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期（中間期）の業績予想の修正に加え、引き続きAIサーバー向けの高機能材や半導体部材の需要拡大などが続く見通しであります。また、下期では鉄鋼相場の上昇や暑熱対策に関連した労働環境改善の工事案件需要が見込まれることも考慮した結果、前回予想を上回る見通しとなったため、業績予想を上方修正いたしました。

詳細につきましては、2026年7月31日の「2027年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,977	5,415
受取手形	1,186	578
電子記録債権	26,723	27,980
売掛金	59,703	59,263
商品及び製品	30,178	31,354
その他	5,688	5,491
貸倒引当金	△287	△327
流動資産合計	129,171	129,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,591	8,702
土地	14,374	14,375
その他（純額）	2,315	2,016
有形固定資産合計	25,281	25,093
無形固定資産	191	190
投資その他の資産		
投資有価証券	22,849	24,056
繰延税金資産	101	112
退職給付に係る資産	1,508	1,497
その他	2,176	1,953
貸倒引当金	△71	△67
投資その他の資産合計	26,564	27,552
固定資産合計	52,037	52,836
資産合計	181,208	182,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,367	52,778
電子記録債務	5,440	5,420
短期借入金	35,194	31,125
未払法人税等	1,350	1,161
契約負債	1,257	1,389
賞与引当金	1,961	886
その他	2,514	4,611
流動負債合計	97,086	97,372
固定負債		
長期借入金	1,306	544
繰延税金負債	5,282	5,465
退職給付に係る負債	245	240
役員退職慰労引当金	19	20
その他	321	349
固定負債合計	7,176	6,621
負債合計	104,262	103,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,321	1,321
資本剰余金	695	683
利益剰余金	61,263	61,928
自己株式	△1,650	△1,622
株主資本合計	61,629	62,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,029	12,844
繰延ヘッジ損益	5	6
為替換算調整勘定	2,978	3,150
その他の包括利益累計額合計	15,013	16,001
新株予約権	282	265
非支配株主持分	20	21
純資産合計	76,945	78,599
負債純資産合計	181,208	182,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	70,329	78,128
売上原価	64,750	71,626
売上総利益	5,579	6,502
販売費及び一般管理費	3,992	4,461
営業利益	1,587	2,041
営業外収益		
受取利息	11	2
受取配当金	321	348
受取賃貸料	24	54
仕入割引	12	14
持分法による投資利益	11	30
その他	20	26
営業外収益合計	402	478
営業外費用		
支払利息	84	145
売上債権売却損	0	0
賃貸費用	12	15
為替差損	8	14
その他	11	12
営業外費用合計	117	188
経常利益	1,871	2,330
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	489	1
補助金収入	50	—
特別利益合計	539	1
特別損失		
固定資産除売却損	0	94
投資有価証券売却損	3	—
特別損失合計	4	94
税金等調整前四半期純利益	2,407	2,238
法人税、住民税及び事業税	889	846
法人税等調整額	△208	△185
法人税等合計	680	661
四半期純利益	1,727	1,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,726	1,576

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,727	1,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△306	815
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	△165	171
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	△466	988
四半期包括利益	1,260	2,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,259	2,564
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	300百万円	332百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	鉄鋼事業	非鉄金属 事業	電子事業	ライフ営業 事業	機械・工具 事業	営業開発 事業	海外グルー プ事業	計		
売上高										
外部顧客への売上高	46,067	6,306	3,682	2,287	792	1,033	10,159	70,329	—	70,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,269	387	1,992	13	2	8	76	3,749	△3,749	—
計	47,337	6,693	5,675	2,301	794	1,041	10,235	74,079	△3,749	70,329
セグメント利益 又は損失(△)	803	49	268	122	△54	62	335	1,586	0	1,587

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	鉄鋼事業	非鉄金属 事業	電子事業	ライフ営業 事業	機械・工具 事業	営業開発 事業	海外グルー プ事業	計		
売上高										
外部顧客への売上高	45,019	9,076	4,886	2,607	825	977	14,735	78,128	—	78,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,707	466	2,064	2	6	9	230	4,488	△4,488	—
計	46,726	9,543	6,951	2,610	832	986	14,966	82,617	△4,488	78,128
セグメント利益 又は損失(△)	790	75	230	106	△27	31	833	2,040	0	2,041

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、第四次中期経営計画において掲げる事業ポートフォリオの見直し及びグループ最適化の推進に伴い、成長性の高い海外拠点での事業を明確化することを目的として、「海外グループ事業」を新設いたしました。従来は海外拠点の経営成績について取り扱う商品ごとに「鉄鋼事業」、「非鉄金属事業」、「電子事業」、「ライフ営業事業」、「機械・工具事業」、「営業開発事業」に区分しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「海外グループ事業」として表示しております。また、国内各拠点についても海外拠点同様、従来の区分から各事業拠点が所属する事業セグメントごとの区分に変更しております。これらの変更により、報告セグメントは従来の6区分から7区分に変更しております。

なお、前年同期比較につきましては、変更後の報告セグメント区分に基づいております。